

地域回覧用



# 小原中部小学校だより



令和8年2月3日

2025 第459号

文責 教頭 釜屋雄一

ぜひとも、学校  
ホームページを  
ご覧ください⇒



\*\*\*\*\*

## 2/2 5・6年 体育 — 跳び箱「抱え込み跳び」の学習 —

### 自分に合った挑戦で高まる意欲

5・6年生の体育では、跳び箱運動「抱え込み跳び」に取り組んでいます。今回は、4段・5段・6段の3台を用意し、自分に合った高さを選んで練習できるようにしました。両手の間に膝をしっかりと抱え込んで通す感覚をつかむため、跳び箱を横向きに置いた練習も取り入れ、横向き・縦方向のどちらからでも挑戦できるよう工夫しています。

笛の合図で、それぞれが自分のペースで練習をスタート。子どもたちは、跳ぶ向きを変えたり、段の高さを調整したりしながら、意欲的に技の習得に励んでいました。仲間同士でアドバイスを送り合う姿も見られ、学び合いが自然と生まれていました。

最後には、タブレットで一人一人の跳ぶ姿を撮影し合い、自分の動きを動画で振り返りました。自分の動きを客観的に見ることで、次の練習に生かしたいポイントがより明確になります。子どもたちの表情には、「もっと上手になりたい」という前向きな気持ちがあふれています。



2025/02/02 09:08:35

\*\*\*\*\*

## 2/2 2年 生活科 — お店のひみつが知りたいな —

### 行けなくても学べる工夫いっぱい

2年生の生活科では、本来予定していた交流館やお店の見学が、先週の学年閉鎖により実施できませんでした。そこで、教師が事前にお店の方へ取材を行い、その情報をもとに、子どもたちが「質問する」形で学習を進めました。

子どもたちは、自分で考えてきた質問をていねいな言葉で伝え、教師から返ってきた回答を一生懸命メモにまとめていました。事前に練習していた「質問の仕方」も生かされ、相手に伝わる話し方を意識して取り組む姿が印象的でした。

「何種類のお豆腐がありますか」「大豆の種類は何ですか」「どんな卵を売っているのですか」等、子どもたちの興味から生まれた質問が次々と飛び出し、学びへの意欲がにじみ出ていました。実際に見学に行けなくても、工夫次第で豊かな学びができる時間をとりました。



2025/02/02 11:07:51